YAMAHA
GUITAR/BASS AUTO TUNER

YT-2100

OWNER'S MANUAL / MODE D'EMPLOI
BEDIENUNGSANLEITUNG / **取扱説明書**

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
P.O.Box 1, Hamamatsu, Japan
Printed in Hong Kong

このたびはヤマハ・ギター／ベースオートチューナー YT-2100をお買い求めいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

安全へのこころがけ

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには

～以下の指示を必ず守ってください～

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示	意味	例
⚠	注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。	
	禁止の行為を告げるものです。	例：（分解禁止マーク）→ 分解禁止
●	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	例：（電源プラグマーク）→ 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。

- ⚠ この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。
- この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。
- 次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。
  - ● 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ● 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ● ホコリの多い場所
  - ● 振動の多い場所
  - ※ 特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。この機器を車内に放置しないでください。
- ACアダプター使用時、ACアダプターの電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。100V以外では火災、感電の原因となります。
- ACアダプター使用時、ACアダプターの電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきます。火災、感電の原因となります。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。火災、感電の原因となります。
- ⚠ 次のような場合は、直ちに電源を切って、サービスセンターに修理を依頼してください。
  - ● ACアダプターの電源コードやプラグが破損したとき
  - ● 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
  - ● 機器が（雨などで）濡れたとき
  - ● 機器に異常や故障が生じたとき

⚠注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

- この機器は、正常な通気が妨げられることのない所に設定して、使用してください。
- ACアダプターの電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- 長時間使用しない場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用後の乾電池は火中に捨てないでください。一般のゴミとは分けて、決められた場所に捨てましょう。
- ⚠ 乾電池は表示された極性（＋、－）を間違えないようにしてください。間違えますと乾電池の破れつや液もれによって、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  ACアダプターは、指定のACアダプターを使用してください。
- ⚠ 本体を、故意に投げたり落としたりしないでください。本体の故障だけでなく、思わぬけがの原因となることがあります。
- 乾電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ⚠

■ ご使用になる前に

◆使用する場所
次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光の当たる場所
- 温度や湿度が非常に高い場所や低い場所
- 砂やホコリの多い場所

◆電源について
- YT-2100は、6F22（006P）乾電池または別売のYAMAHA ACアダプターAC-05、AC-320で作動します。他のACアダプターを使用された場合、故障の原因となることがあります。
  必ず極性の正しいもの（－ –◉– ＋）をお使いください。
- ご使用にならない時は、必ずパワースイッチをOFFにしておいてください。また、電池の液漏れを防ぐため、長時間ご使用にならない時は、電池を取り出しておいてください。

◆取り扱いはやさしく
スイッチなどに無理に力を加えたり、本体を落としますと故障の原因となりますのでご注意ください。

◆お手入れ
外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー系の液体、強燃性のポリッシャーなどは絶対にご使用にならないでください。

◆保証書の手続き
製品をお買上げいただいた日より1年間は保証期間となり、修理料金は無償とさせていただきます。ただし、保証書に販売店印、購入年月日の記入がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。必ずお求めになった販売店で保証書の手続きを行なって頂き、大切に保管してください。

■ 仕様

表示	：メーター、インジケーター、チューニングガイド
音名	：6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E
精度	：±1セント
標準ピッチ範囲	：A4=438～445Hz（1Hzステップ）
付加機能	：バッテリーチェック機能
端子	：INPUTジャック、OUTPUTジャック、DC9Vジャック
電源	：6F22（006P）9V乾電池 別売ACアダプター（AC-05またはAC-320）
電池寿命	：連続約9時間（AUTOモード時）
外形寸法	：155（W）×48.5（H）×32.5（D）mm
重量	：159g（乾電池含む）
付属品	：6F22 9V乾電池×1

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書

持込修理

この度はヤマハ・ギター／ベースオートチューナーをお買上げ戴きましてありがとうございました。
本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。（詳細は裏面をご覧ください）

品　名	ギター／ベースオートチューナー	品　番		YT-2100
保証期間	本体：お買上げの日から1ヶ年間	※お買上げ日		年　月　日
お客様	ご住所　〒	※販売店	店　名	印
	お名前　様		住　所	
	電　話　（　）		電　話	（　）

ご販売店様へ　※印欄は必ずご記入してお渡しください。

修理（サービス）メモ

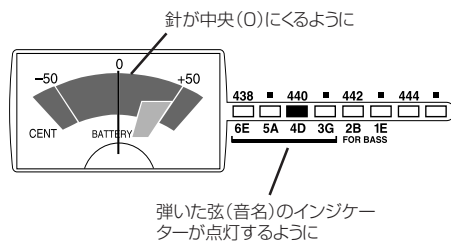
年　月　日	内　容	担　当　者	印

ヤマハ株式会社 弦打楽器営業部　営業課
〒430 静岡県浜松市中沢町10番1号　053-460-2431

■ 各部の名称

■ チューニングの方法

●オートチューニング：（AUTO）
自動的にチューニングするモードです。音を入力すると、その音にいちばん近い基準音の音名と、基準になる音より高いか低いかを表示します。

1. エレキギター／ベースの場合はINPUTジャック❽にギターからのコードを接続します。（この時OUTPUTジャック❾とアンプを接続しておけば、演奏中でもチューニングができます。）
   アコースティックギターの場合は、内蔵マイクロホン❼にギターのサウンドホールをできるだけ近づけます。
   ※ INPUTジャック❽にプラグが接続されている時には、内蔵マイクロホン❼は作動しません。
2. パワースイッチ❶を"AUTO"にセットします。
3. ピッチスイッチ❸を押して、標準となるA4のピッチ（438～445Hz）を選択します。（"ピッチ設定"の項参照）
4. チューニングしたい弦を弾くと、その弦の音名のインジケーター❻が点灯します。（2本以上の弦を同時に弾かないでください。）
5. その弦と違う音名のインジケーターが点灯した場合は、ギターのペグ（糸巻）を回してその弦の音名が点灯するようにします。
6. ギターのペグ（糸巻）を調節して、メーター❹の中央（0）に針がくるようにします。チューニングガイド❺の►だけが点灯した時はチューニングを上げ、◄だけが点灯した時は下げます。正しくチューニングされた時には、►と◄の両方が点灯します。
7. 他の弦も同様に4～6の操作を繰り返してチューニングをします。

●マニュアルチューニング：（MANL）
あらかじめチューニングする弦（音名）をセットしておいてからチューニングするモードです。

1. オートチューニングの場合と同様に、ギターを接続または内蔵マイクロホンに近づけます。
2. パワースイッチ❶を"MANL"にセットします。
3. ピッチスイッチ❸を押して、標準となるA4のピッチ（438～445Hz）を選択します。（"ピッチ設定"の項参照）
4. ノートスイッチ❷によりチューニングしたい弦（音名）を選びます。
   ノートスイッチ❷を押すごとに、右図の順で弦名が変わります。

   6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E

5. チューニングしたい弦を弾き、メーター❹の中央（0）に針がくるように、ギターのペグ（糸巻）を調節します。正しくチューニングされた時には、チューニングガイド❺の►と◄の両方が点灯します。
6. 他の弦も同様に4、5の操作を繰り返してチューニングをします。

■ ピッチ設定
標準となるピッチを設定します。各楽器のチューニングを合わせるために、ピアノの中央のラの音（A4=440Hz）が標準ピッチとして用いられます。この標準ピッチは地域や時代によって多少の誤差があり、近年ではやや高めのピッチでチューニングされる事が多くなっています。

■ ピッチ設定の方法
1. パワースイッチ❶を"AUTO"または"MANL"にセットします。
2. ピッチスイッチ❸を1回押すと、現在設定されている標準ピッチ（A4:438～445Hz）を示すインジケーター❻が点滅します。
3. インジケーター❻の点滅中にピッチスイッチ❸を押して、希望する標準ピッチを設定します。
   1回押すごとにインジケーター❻の点滅位置が1ステップ（1Hz）ずつ移動します。

   438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 → 445

4. ピッチスイッチ❸を押す操作を止めた後、約2秒後に自動的にチューニングモードへ戻ります。

※ パワースイッチ❶を"OFF"にするまで、設定された標準ピッチは"AUTO"、"MANL"いずれのモードでも有効です。パワースイッチ❶を"OFF"から"AUTO"または"MANL"にすると、標準ピッチは440Hzにリセットされます。

標準ピッチ（A4）を一度セットしたら、あとは各弦（音名）とも、メーター❹の中央（0）に針がくるようにチューニングすればOKです。

■ 電池交換

●バッテリーチェック
パワースイッチを"OFF"から"AUTO"または"MANL"にした時、約2秒間メーターにより電池の残量を表示します。この時、メーターの指針が図1のようにBATTERYのバーより左側にある場合は電池が消耗していますので、ただちに新しい電池と交換するか、当社指定のACアダプター（AC-05またはAC-320）をDC9Vジャック❿に接続してご使用ください。
また、ご使用中にチューニングガイドの両方（►、◄）が点滅を始めましたら、電池が消耗していますので、新しい電池と交換するか、当社指定のACアダプター（上記）をご使用ください。

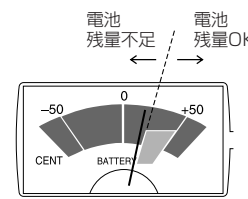



図1

●電池交換の方法
図2のようにして電池を交換します。電池の＋、－を間違えないようにしてください。
※ 電池を交換する時、またはACアダプターを接続する時には、必ずパワースイッチ❶を"OFF"にしてから行なってください。

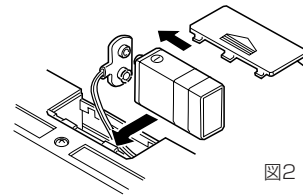



図2

■ サービスについて

1. 保証期間
本機の保証期間は、ご購入（保証書による）より満1ヶ年（現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効）と致します。

2. 保証期間中のサービス
保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。
また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

3. アフターサービス
満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

ヤマハ株式会社
弦打楽器営業部　営業課
〒430 静岡県浜松市中沢町10番1号
053-460-2433

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

〔修理受付および修理品お持込み窓口〕

拠点	住所	電話
北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月 1184	TEL (044) 434-3100
東京サービスステーション*（*お持込み修理窓口）	〒108 東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-6625
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町 911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 877-5262
四国サービスステーション	〒760 高松市丸亀町 8-7 ヤマハ(株)高松店内	TEL (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原 6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町 911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

ヤマハ株式会社国内楽器営業本部

部署	住所	電話
弦打楽器営業部	〒430 浜松市中沢町 10番 1号	TEL (053) 460-2433
東京支店第2営業部	〒108 東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-5476
関東支店第2営業課	〒108 東京都港区高輪 2-17-11	TEL (03) 5488-1688
大阪支店第2営業1課	〒542 大阪市中央区南船場 3-12-9 (心斎橋プラザビル東館)	TEL (06) 252-5231
名古屋支店第2営業課	〒460 名古屋市中区錦 1-18-28	TEL (052) 201-5199
九州支店第2営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2130
北海道支店第2営業課	〒064 札幌市中央区南十条西 1丁目 1-50 (ヤマハセンター)	TEL (011) 512-6113
仙台支店第2営業課	〒980 仙台市青葉区大町 2-2-10	TEL (022) 222-6147
広島支店第2営業課	〒730 広島市中区紙屋町 1-1-18 (ヤマハビル)	TEL (082) 244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

GUITAR/BASS AUTO TUNER

YT-2100

OWNER'S MANUAL

Thank you for purchasing the YAMAHA YT-2100 Guitar/ Bass Auto Tuner.
Please read this manual thoroughly and keep it in a safe place for future reference.

■ PRECAUTIONS

◆ To prevent damage, do not use the tuner in the following locations:
- places where the unit will be in direct sunlight;
- places subject to temperature and humidity extremes;
- places that are sandy or dusty.

◆ To power the tuner, use only a 6F22 or 006P 9V dry cell battery or an optional YAMAHA AC-05UC or AC-320UC AC Adaptor. Other power sources may damage the device.

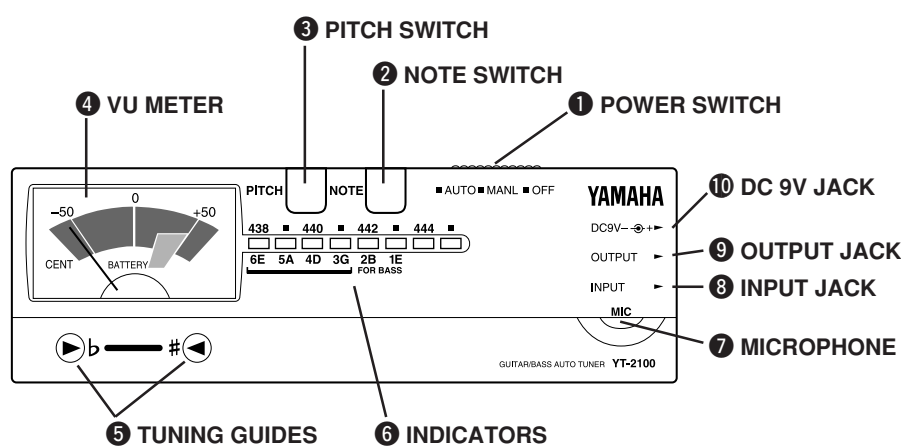
*** Before connecting the AC adaptor, make sure that the polarities of the plug and the jack match (– –◉– +).**

◆ For maximum battery life, always be sure the tuner is turned OFF when not in use.

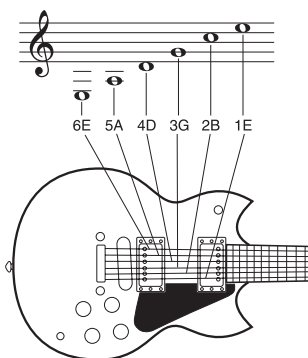
◆ To prevent possible damage due to leakage of battery fluid, remove the battery from the tuner if it is not to be used for an extended period of time.

◆ Do not subject the tuner to strong physical shock or vibration. Do not use excessive force on any of the parts.

◆ Never use solvents such as benzine or thinner to clean the tuner. Wipe clean with a soft, dry cloth.

■ COMPONENTS

■ SPECIFICATIONS

Indicators	: VU Meter, Indicator LEDs,Tuning Guides
Tuning Notes	: 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E
VU Meter Precision	: ± 1 cent
Standard Pitch Range	: A4 = 438 Hz — 445 Hz (1 Hz steps)
Added Function	: Battery Check
Jacks	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Power Source	: 9V dry cell battery (006P or 6F22) or YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC)
Battery Life	: Approx. 9 hours
Dimensions (WxHxD)	: 155 x 48.5 x 32.5 mm (6-1/8" x 1-15/16" x 1-1/4")
Weight	: 159 g (5.6 oz) with battery
Accessory	: 9V dry cell battery (6F22) x 1

6E 5A 4D 3G 2B 1E

* *Specifications and external appearance are subject to change without notice.*

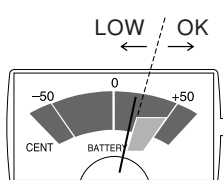
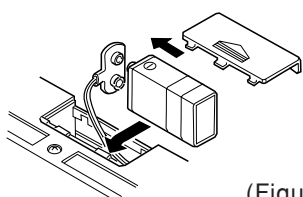
■ BATTERY CHECK

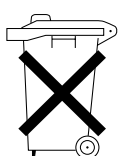
For about 2 seconds after switching the power from "OFF" to "AUTO" or "MANL", the VU meter needle will indicate the charge remaining in the battery. If the needle rests to the left of the battery check bar (refer to Figure 1 below), the battery needs to be replaced.
As an additional check, if the battery runs low while the tuner is in use, both tuning guide indicators (►,◄) will flash indicating that the battery must be replaced.
For convenience, the tuner has a DC 9V jack; please use an optional YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC) wherever possible.

● Battery Change

The battery compartment is in the rear of the tuner. Remove the old battery and replace it with a new one of the same type. Be careful to connect the battery in the correct polarity.

* *Always turn the power switch ❶ to "OFF" before changing the battery or connecting an AC adaptor.*

(Figuare 1)

(Figuare 2)

Bij dit produkt zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet u ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

■ TUNING PROCEDURES

● Auto Tuning (AUTO)

In AUTO mode, the tuner will automatically select the note closest to the tone input for tuning. This is convenient for tuning during musical performances.

1. For electric guitars and basses, connect the guitar cord to the INPUT jack ❽. (At this time, the OUTPUT jack ❾ can be connected to an amplifier in preparation for tuning during a performance.) For acoustic guitars, place the guitar sound hole near the built-in microphone ❼.

   * *The built-in microphone ❼ cannot be used when there is a plug in the INPUT jack ❽.*
2. Turn the power switch ❶ to the "AUTO" position.
3. If desired, press the pitch switch ❸ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)
4. Pluck the string to be tuned. The appropriate indicator ❻ will light up for the tuning note. (Do not pluck two or more strings at the time.)
5. If the wrong indicator light is on, adjust the guitar tuning peg until the correct light comes on.
6. Continue to adjust the tuning peg until the VU meter ❹ needle rests in the middle ("0 cent"). If the note is flat, the left tuning guide (►) will light. If the note is raised, the right tuning guide (◄) will light. Adjust accordingly until both tuning guides (►,◄) are lit. At this point, the string is correctly tuned.

   Adjust the tuning peg until the VU meter needle rests in the middle ("0 cent").

   The appropriate indicator for the plucked tuning note should lights up.
7. Repeat steps 4 through 6 to tune the other strings.

● Manual Tuning (MANL)

In MANL mode, each note must be individually selected as needed. This mode is most commonly used to tune instruments before musical performances.

1. Similar to AUTO mode, connect the electric guitar or bass cord to the INPUT jack ❽. For acoustic guitars, place the guitar sound hole near the built-in microphone ❼.
2. Turn the power switch ❶ to the "MANL" position.
3. If desired, press the pitch switch ❸ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)
4. Press the note switch ❷ to select the desired tuning note. The indicators ❻ for the tuning notes will light in sequence (as shown in the pattern below) each time the note switch is pressed.

   6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E
5. Adjust the tuning peg until the VU meter ❹ needle rests in the middle ("0 cent"). If the note is flat, the left tuning guide (►) will light. If the note is raised, the right tuning guide (◄) will light. Adjust accordingly until both tuning guides (►,◄) are lit. At this point, the string is correctly tuned.
6. Repeat steps 4 and 5 to tune the other strings.

■ PITCH SELECTION

Recently, it has become common to slightly raise the standard pitch when tuning musical instruments. The standard pitch also depends on the region and the era. To conform to the current standard and to harmonize with other instruments, the standard pitch must be changed from time to time.

■ PITCH SELECTION METHOD

1. Turn the power switch ❶ to the "MANL" or "AUTO" position.
2. Press the pitch switch ❸ once to enter pitch selection mode. An indicator ❻ will flash at one of the standard pitch settings (A4: 438 — 445 Hz).
3. While the indicator ❻ is flashing, press the pitch switch ❸. The indicators ❻ will flash in sequence (as shown in the pattern below) each time the pitch switch is pressed. Each indicator ❻ step represents a 1 Hz change in standard pitch.

   438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 → 445
4. Select the desired standard pitch. When the pitch switch ❸ has not been pressed for about 2 seconds, the tuner will automatically return to tuning mode.

   * *Turning OFF the power switch ❶ cancels the selected standard pitch. When the power switch ❶ is turned back on to the "AUTO" or "MANL" position, the standard pitch automatically resets to A4: 440 Hz.*

ACCORDEUR AUTOMATIQUE DE GUITARE/BASSE

YT-2100

MODE D´EMPLOI

Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'accordeur automatique de guitare/basse YAMAHA YT-2100. Nous vous prions de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver en lieu sûr pour toute référence future.

■ PRECAUTIONS

◆ Afin de ne pas endommager l'accordeur ne pas l'utiliser dans des endroits soumis aux conditions suivantes:

- plein soleil;
- humidité ou températures excessives;
- sable ou poussière.

◆ Pour alimenter l'accordeur, utiliser une pile sèche 6F22 ou 006P de 9 volts ou un adaptateur secteur en option YAMAHA AC-05G ou AC-320G.

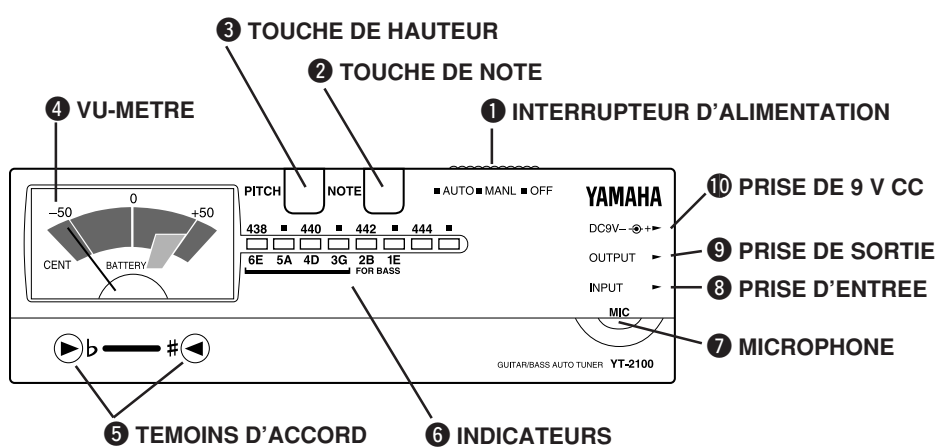
* **Avant de brancher, vérifier que la polarité de la fiche et celle de la prise correspondent (– ⊖ +).**

◆ Pour prolonger au maximum la durée de vie de la pile, toujours mettre l'accordeur hors tension lorsqu'il n'est pas utilisé.

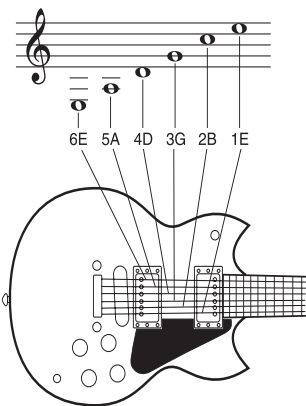
◆ Pour prévenir tout endommagement éventuel de l'accordeur dû à une fuite du liquide de la pile, enlever la pile lorsque l'accordeur ne doit pas être utilisé pendant une période prolongée.

◆ Ne pas soumettre l'accordeur à des chocs ou à des vibrations importantes. Ne jamais le manipuler avec une force excessive.

◆ Ne jamais utiliser de solvants, tels que de la benzine ou un diluant, pour nettoyer l'accordeur. L'essuyer avec un chiffon propre et sec.

■ ORGANES

■ FICHE TECHNIQUE

Indicateurs	: VU-mètre, indicateurs à LED, témoin d'accord
Notes d'accord	: 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E
Précision du VU-mètre	: ± 1 centième
Plage de hauteur standard	: A4 — 438 Hz à 445 Hz (pas de 1 Hz)
Fonction supplémentaire	: Contrôle de la pile
Prises	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Alimentation	: Pile sèche de 9V (006P ou 6F22) ou adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G)
Durée de vie de la pile	: Env. 9 heures
Dimensions (L x H x P)	: 155 x 48.5 x 32.5 mm
Poids	: 159 g avec pile
Accessoires	: Pile sèche de 9 V (6F22) x 1

6E 5A 4D 3G 2B 1E

** Les spécifications et l'aspect externe peuvent être modifiés sans aucun avis.*

■ CONTROLE DE LA PILE

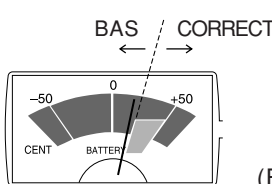
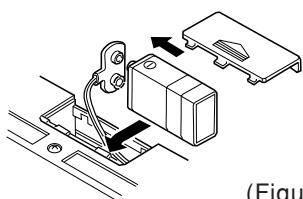
Pendant environ 2 secondes après la mise sous tension, lorsque l'interrupteur POWER ❶ est mis sur "AUTO" ou "MANL", l'aiguille du VU-mètre indique la charge de la pile. Si l'aiguille vient se placer à gauche de la barre de contrôle de la pile (voir la Figure 1 ci-dessous), la pile doit être changée.

Par mesure de sécurité, si la pile devient trop faible pendant que l'accordeur est en cours d'utilisation, les deux témoins d'accord (►,◄) se mettent à clignoter pour indiquer que la pile doit être remplacée.

Pour des raisons de commodité, l'accordeur est pourvu d'une prise 9 V CC; utiliser un adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G) chaque fois que possible.

● Remplacement de la pile

Le logement de la pile est situé au dos de l'accordeur. Retirer la pile usée et la remplacer par une pile neuve du même type. Faire très attention de placer la pile en respectant les polarités.

** Toujours mettre ❶'interrupteur POWER 1 sur la position "OFF" avant de remplacer la pile ou de connecter un adaptateur secteur.*

(Figure 1)

(Figure 2)

■ MARCHE A SUIVRE

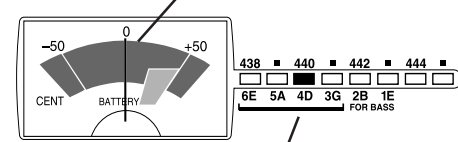
● Accord automatique (AUTO)

En mode AUTO, l'accordeur sélectionne automatiquement la note la plus proche de la tonalité d'entrée pour réaliser l'accord. Ceci est particulièrement commode pour accorder pendant une représentation.

1. Brancher le cordon de la guitare ou de la basse à la prise INPUT ❽ (la prise OUTPUT ❾ peut alors être connectée à un amplificateur afin de pouvoir accorder en cours de représentation). Dans le cas d'une guitare acoutisque, placer l'ouverture près du micro intégré ❼.

   ** Le micro intégré ❼ ne peut pas être utilisé lorsque la prise INPUT ❽ est utilisée.*

2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ❶ sur la position "AUTO".
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH ❸ pour sélectionner la hauteur standard A4 (se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails).
4. Pincer la corde à accorder. L'indicateur ❻ approprié s'allume pour la note d'accord (ne pas pincer plus d'une corde à la fois).
5. Si l'indicateur qui s'allume n'est pas le bon, accorder jusqu'à ce que le bon indicateur s'allume.
6. Continuer à accorder jusqu'à ce que l'aiguille du VU-mètre ❹ s'immobilise au milieu ("0 cent"). Si la note est plate, le témoin d'accord gauche (►) s'allume. Si la note est haute, le témoin droit (◄) s'allume. Accorder en conséquence jusqu'à ce que les deux témoins (►,◄) s'allument en même temps. La corde est alors correctement accordée.

   Accorder jusqu'à ce que l'aiguille du VU-mètre s'immobilise au milieu ("0 cent").

   L'indicateur correspondant à la note d'accord pincée doit s'allumer.

7. Refaire les opérations 4 à 6 pour les autres cordes.

● Accord manuel (MANL)

En mode MANL, chaque note doit être sélectionnée individuellement chaque fois que nécessaire. Cette méthode est la plus couramment utilisée pour accorder un instrument avant une représentation.

1. Comme dans le cas du mode AUTO, brancher le cordon de la guitare ou de la basse électrique à la prise INPUT ❽. Dans le cas d'une guitare acoutisque, placer l'ouverture près du micro intégré ❼.
2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ❶ sur la position "MANL".
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH ❸ pour sélectionner la hauteur standard A4 (se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails).
4. Appuyer sur la touche NOTE ❷ pour sélectionner la note d'accord souhaitée. Les indicateurs ❻ de note d'accord s'allument l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche NOTE.

   6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E

5. Accorder jusqu'à ce que l'aiguille du VU-mètre ❹ s'immobilise au milieu ("0 cent"). Si la note est plate, le témpoin d'accord gauche (►) s'allume. Si la note est haute, le témoin droit (◄) s'allume. Accorder en conséquence jusqu'à ce que les deux témoins (►,◄) s'allument en même temps. La corde est alors correctement accordée.
6. Refaire les opérations 4 et 5 pour les autres cordes.

■ SELECTION DE LA HAUTEUR

Il est devenu habituel d'élever légèrement la hauteur standard pour accorder un instrument musical. La hauteur standard varie également selon les pays et les époques. Pour être conforme au goût du jour et s'harmoniser avec d'autres instruments, la hauteur standard doit être modifiée de temps en temps.

■ MODE DE SÉLECTION DE LA HAUTEUR

1. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ❶ sur la position "AUTO" ou "MANL".
2. Appuyer une fois sur la touche PITCH ❸ pour activer le mode de sélection de hauteur. Un des indicateurs ❻ correspondant à une hauteur standard (A4: 438 à 445 Hz) clignote.
3. Pendant que l'indicateur ❻ clignote, appuyer sur la touche PITCH ❸. Les indicateurs ❻ clignotent l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche PITCH. Chaque indicateur ❻ représente une modification de la hauteur standard de 1 Hz.

   438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 → 445

4. Sélectionner la hauteur standard souhaitée. Si la touche PITCH ❸ n'est pas sollicitée dans les 2 secondes environ, l'accordeur revient automatiquement au mode d'accord.

   ** Le fait mettre l'interrupteur POWER ❶ sur la position "OFF" annule la hauteur standard sélectionnée. Lorsque l'interrupteur POWER ❶ est remis sur "AUTO" ou "MANL", la hauteur standard A4: 440 Hz est automatiquement rétablie*

ELEKTRONISCHES GITARREN/BASS-STIMMGERÄT

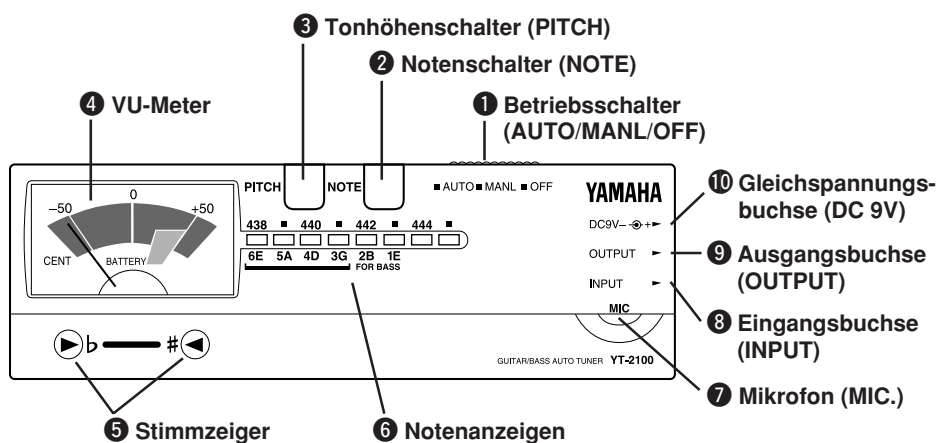
YT-2100

BEDIENUNGSANLEITUNG

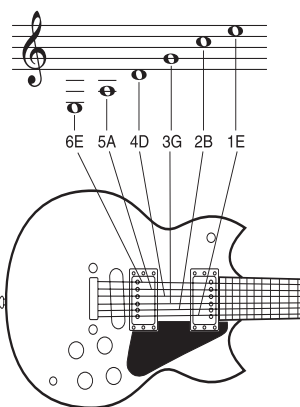
Vielen Dank für den Kauf des elektronischen Gitarren/ Baß-Stimmgeräts YT-2100 von Yamaha.
Bitte lesen Sie sich diese Anleitung vor Gebrauch durch und bewahren Sie sie dann zur späteren Bezugnahme an einem sicheren Ort auf.

■ VORSICHTSMASSNAHMEN

- ◆ Das Gerät vor den nachfolgenden Einflüssen schützen, um Schäden zu verhindern:
  - Direkte Sonneneinstrahlung
  - Extreme Temperaturen oder Feuchtigkeit
  - Übermäßiger Staub.
- ◆ Zum Betrieb des YT-2100 nur eine 9 V Batterie der Kennung 6F22 oder 006P bzw. den getrennt erhältlichen Yamaha Netzadapter AC-05G oder AC-320G verwenden. Andere Stromquellen können zu Schäden führen.
  - *** Vor dem Anschluß des Netzadapters sicherstellen, daß die Polarität des Steckers mit der der Buchse übereinstimmt (– ⊸◉⊷ +).**
- ◆ Das Gerät nach Gebrauch stets ausschalten, um die Batterie zu schonen.
- ◆ Vor längerem Nichtgebrauch die Batterie entfernen, um Schäden durch womöglich lecke Batterien zu verhindern.
- ◆ Vor Stoß und Schlag schützen. Keinesfalls mit Gewalt handhaben.
- ◆ Zum Reinigen keinesfalls Benzin oder Verdünner verwenden. Mit einem trockenen, sauberen Tuch abwischen.

■ BAUTEILE

■ TECHNISCHE DATEN

Anzeigen	: VU-Meter, LED-Anzeigen, Stimmzeiger
Stimmnoten	: 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E
VU-Meterpräzision	: ± 1 Cent
Bezugstonhöhenbereich	: A4= 438 Hz — 445 Hz (1 Hz Schritte)
Zusatzfunktion	: Batterieprüfung
Buchsen	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Stromversorgung	: 9V Trockenzelle (006P oder 6F22) oder YAMAHA Netzadapter (AC-05G oder AC-320G)
Batterie-Lebensdauer	: ca. 9 Stunden
Abmessungen (WxHxD)	: 155 x 48.5 x 32.5 mm
Gewicht	: 159 g mit Batterie
Zubehör	: 9V Batterie (6F22) x 1

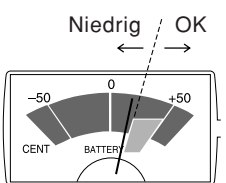
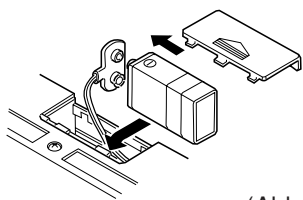
6E 5A 4D 3G 2B 1E

** Änderungen an Daten und Design vorbehalten.*

■ BATTERIEPRÜFUNG

Ungefähr 2 Sekunden nach Einschalten (AUTO oder MANL) zeigt der VU-Meter die Batterieladung an. Falls der Zeiger links am BATTERY-Balken steht (siehe Abb. 1 unten), sollte die Batterie ausgetauscht werden.
Außerdem blinken beide Stimmzeiger (►,◄) bei schwach werdender Batterie gleichzeitig, um beim Stimmen auf einen notwendigen Batterieaustausch hinzuweisen.
Das YT-2100 verfügt außerdem über eine DC 9V Buchse, damit ein getrennt erhältlicher Yamaha Netzadapter (AC-05G oder AC-320G) zum Betreiben des Geräts verwendet werden kann.

● Batteriewechsel

Das Batteriefach befindet sich auf der Rückseite. Die alte Batterie durch eine neue des gleichen Typs austauschen. Beim Anschließen der Batterie auf korrekte Polung achten.

** Vor dem Wechseln der Batterie den Betriebsschalter ❶ unbedingt auf OFF stellen.*

(Abb. 1)

(Abb. 2)

Bescheinigung des Importeurs

Hiermit wird bescheinigt, daß der / die / das

GUITAR/BASS AUTO TUNER Typ : YT-2100

(Gerät, Typ, Bezeichnung)

in Übereinstimmung mit den Bestimmungen der

VERFÜGUNG 1046/84

(Amtsblattverfügung)

funkentstört ist.

Der Deutschen Bundespost wurde das Inverkehrbringen dieses Gerätes angezeigt und die Berechtigung zur Überprüfung der Serie auf Einhaltung der Bestimmungen eingeräumt.

YAMAHA Europa GmbH

Name des Importeurs

■ STIMMVORGANG

● Automatisches Stimmen

In der AUTO-Betriebsart wählt das Stimmgerät automatisch die dem Eingabeton am nächsten liegende Note. Dies ist besonders praktisch während Live-Konzerten.

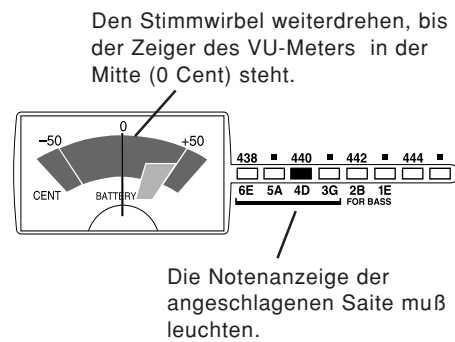
1. Die E-Gitarre oder den Baß an die INPUT-Buchse ❽ anschließen. (Die OUTPUT-Buchse ❾ kann zur Vorbereitung bereits mit einem Verstärker verbunden sein.) Bei akustischen Gitarren das Schalloch möglichst nahe an das Mikrofon ❼ bringen.

   ** Bei beschalteter INPUT-Buchse ❽ funktioniert das Mikrofon ❼ nicht.*

2. Den Betriebsschalter ❶ in die Stellung AUTO schieben.
3. Falls gewünscht, mit der PITCH-Taste ❸ die Bezugstonhöhe für den Ton A4 wählen. (Einzelheiten, siehe unter Wahl der Bezugstonhöhe).
4. Die zu stimmende Saite anschlagen. Die entsprechende Notenanzeige ❻ leuchtet dadurch auf. (Keinesfalls mehr als eine Saite anschlagen).
5. Falls die falsche Notenanzeige aufleuchtet, am Stimmwirbel der Gitarre drehen, bis die korrekte Note angezeigt wird.
6. Den Stimmwirbel weiterdrehen, bis der Zeiger des VU-Meters ❹ in der Mitte (0 Cent) steht. Falls der Eingabeton zu niedrig ist, blinkt der linke Stimmzeiger (►) auf. Bei zu hohem Eingabeton spricht der rechte Stimmzeiger (◄) an. Die Saite stimmen, bis beide Stimmzeiger (►,◄) gleichzeitig leuchten. Damit hat die Saite die korrekte Stimmung.

Den Stimmwirbel weiterdrehen, bis der Zeiger des VU-Meters in der Mitte (0 Cent) steht.

Die Notenanzeige der angeschlagenen Saite muß leuchten.

7. Die Schritte 4 bis 6 zum Stimmen der restlichen Saiten wiederholen.

● Manuelles Stimmen (MANL)

In der MANL-Betriebsart müssen die Noten zum Stimmen einzeln gewählt werden. Diese Stimmbetriebsart empfiehlt sich besonders vor Konzerten.

1. Wie beim AUTO-Stimmvorgang die E-Gitarre oder den Baß an die INPUT-Buchse ❽ anschließen. Bei akustischen Gitarren das Schalloch möglichst nahe an das Mikrofon ❼ bringen.
2. Den Betriebsschalter ❶ in die Stellung MANL schieben.
3. Falls gewünscht, mit der PITCH-Taste ❸ die Bezugstonhöhe für den Ton A4 wählen. (Einzelheiten, siehe unter Wahl der Bezugstonhöhe).
4. Mit der NOTE-Taste ❷ die zu stimmende Note wählen. Die Taste so oft antippen, bis die Notenanzeige ❻ für die zu stimmende Noten aufleuchtet.

   6E → 5A → 4D → 3G → 2B → 1E

5. Den Stimmwirbel weiterdrehen, bis der Zeiger des VU-Meters ❹ in der Mitte (0 Cent) steht. Falls der Eingabeton zu niedrig ist, blinkt der linke Stimmzeiger (►) auf. Bei zu hohem Eingabeton spricht der rechte Stimmzeiger (◄) an. Die Saite stimmen, bis beide Stimmzeiger (►,◄) gleichzeitig leuchten. Damit hat die Saite die korrekte Stimmung.
6. Die Schritte 4 bis 5 zum Stimmen der restlichen Saiten wiederholen.

■ WAHL DER BEZUGSTONHÖHE

In der letzten Zeit wird die Bezugstonhöhe und damit die Tonlage von Instrumenten oft geringfügig angehoben. Die Bezugstonhöhe unterscheidet sich von Region zu Region und Ära zu Ära. Um ein Harmonisieren mit anderen Instrumenten zu erlauben, kann die Bezugstonhöhe und die Tonlage des YT-2100 modifiziert werden.

■ WAHL DER BEZUGSTONHÖHE

1. Den Betriebsschalter ❶ in die Stellung MANL oder AUTO schieben.
2. Durch Drücken von PITCH ❸ auf Tonlagenwahl schalten. Eine Anzeige der Bezugstonhöhe (A4: 438 — 445 Hz) blinkt dadurch.
3. Während Blinkens der Anzeige ❻, PITCH ❸ so oft antippen, bis die gewüschte Tonlagenanzeige für Ton A aufleuchtet (die Reihenfolge ist unten gezeigt). Jede Anzeige repräsentiert hierbei eine Änderung der Bezugstonhöhe um 1 Hz.

   438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 → 445

4. Die gewünschte Tonlage wählen. WIrd die PITCH-Taste ❸ ca. 2 Sekunden lang nicht betätigt, schaltet das YT-2100 automatische auf Stimmbetrieb.

   ** Durch Ausschalten ❶ wird die gewählte Tonlage rückgestellt. Beim Einschalten (AUTO oder MANL) wird automatisch die Standardtonhöhe von A4=440 Hz vorgewählt.*

無償修理規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合荷は、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
   (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (6) 消耗部品の交換。
   (7) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。